平成 28 年 7 月 27 日（水曜日）

建通新聞

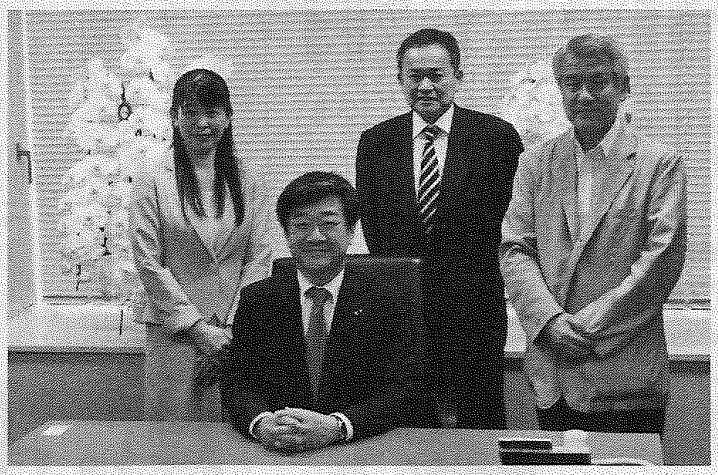
足立敏之参院議員が事務所開き

足立敏之氏（元国土交通省技監）の参院議員としての任期が26日からスタートした。足立議員は「公共投資の規模が小さいというのが地方の声。まずは補正予算で公共事業費を少しでも大きくしたい」との意気込みをあらためて語った。

26日、千代田区の参院議員会館501号室に事務所を開いた。「選挙戦での大きな期待には責任が伴う。建設業界の期待に応える政治活動を進めていきたい」と真摯（しんし）に話す。

国交省で防災に携わった経験から「今は国交省職員に限られているテックフォースを大手・地元建設企業や建設コンサルタントなどにも広げ、建設分野全体で災害に対応できるようにしたい」と意欲を見せる。

自身が、山口県下関市と北九州市を結ぶ関門橋を見て、土木の世界を志したというだけに、「若者が『こんな仕事がしたい』と思ってくれるような、夢のあるプロジェクトの実現に一役買い、建設業に若年層を呼び込むことにつながれば」と、やる気をみなぎらせている。



足立議員と事務所スタッフ